

関東同窓会のホームページを同時にご覧ください。 <http://www.h5.dion.ne.jp/uedakant/>

初の女性会長、前田さん選出 第44回総会、母校ダンス部も花添える

関東同窓会第44回総会は、05年7月2日(土)午後、神田一ツ橋の如水会館で本部の笠原理事長や日野勝校長ら来賓や会員併せて約230人が参加して開催された。今期総会の焦点は第15代執行部の選出。会長には15代で初めて女性の前田喜美子さん(54期)が、副会長に倉島彰さん(54期)、成田邦夫さん(56期)、寺島知恵子さん(58期)、山浦成子さん(63期)が選任されたが、難航した幹事長の選任ができず、成田副会長が前期に引き続き幹事長代行という変則的な形で船出することになった。前田新会長は「積極的にプロジェクトを進めた石井前会長の路線を引き継ぎ、伝統の上に立ちながら若い世代や女性の同窓生にも魅力を持たれる同窓会にしていきたい」と抱負を述べた。



総会に引き続き懇親会。昨年の母校室内楽班に続き、ダンス同好会12人が特別出演。発足してまだ歴史は浅いが、ロックのビートに乗って演壇上で激しく動き、圧倒的に男子世代だった高齢層にはショックの表情も。懇親会冒頭の校歌斉唱でも同窓のピアノスト西澤真理子さんが演奏し、女性の進出を感嘆させた。

懇親会は58期、63期、68期、73期、78期の実行委員の手でスムーズに進められ、会員からは「前田会長は堂々としているね」「会報で女性会長候補と知って驚いたが頑張ってもらいたい」など話題も新執行部への期待が中心。女性の初参加者の姿も目立ち、楽しい語らいが遅くまで続いた。

活躍した
母校ダンス部
のみなさん

活躍した
母校ダンス部
のみなさん

新年おめでと〜うございませう

絵は田中柳一さん
(翌期の寄贈です)



第5回女性交流会開催される!

ようやく秋の気配が濃くなってきた10月1日、パレスホテルの1階で、第5回目の上田高校卒業生の女性交流会が開催されました。女性が初めて入学した52期生から87期生まで35名が参加し、懐かしさから年齢に関係なく、あつという間に全員がまるで同じクラスだったかのような雰囲気になりました。少しのワインと美味しいサンドウィッチをいただきながら、話が弾みました。参加した方々は、みんな高校時代の顔になってしまおうのが面白くもあり、同窓会の良いところだと実感しました。

今年度女性で初めて会長になった前田喜美子さんのお話を皮切りに、皆さんに2分スピーチをしていただきました。お仕事を続けて来た人も、専業主婦で過ごした人も、それぞれに歴史を刻み、みんな素敵になっていたのが印象的でした。たった3年間の共通の場を持っただけで、こんなになごやかに語り合えるなんて、同窓会も時にはいいもんだと思った1日でした。女性の皆さん次回是非参加して下さい。
(山浦・記)



15代会長前田喜美子さんインタビュー



小柄で細身のしなやかな身体に芯の強さを漂わせる。柔和な眼の奥に時折鋭さを見せる。15代目で初めてトップリーダーに立った女性会長、前田喜美子さん(54期)。新宿区曙橋に近い、前田さんが社長を務める会社に伺い、同窓会運営の抱負などを聞いた。

Q: 同窓会の印象や引き受けられた経緯などからお話を。

A: 運営して行くのは大変だなあ、という実感です。共通点は、人生にとって重要だが極めて短い時間の共有という点だけ。その後の人生は皆違い、またジェネレーションギャップも大きい。各世代のニーズに対応していくには「十把ひとからげ」でなく、それぞれにアピールできる切り口が必要でしょう。早速「女性の会」を開いたが、これからはさまざまなテーマごとの講演会やイベントを企画していければと思う。

前会長で同期の石井光春さんが高校時代、英語クラブで一緒でした。石井さんが英語劇の写真などを持ってきて懐かしい話をしているうちに「会長をやってくれ」と切り出されたんです。4年前アメリカから帰ってきて同期会に出たり中南信支部の総会に招かれたり、楽しい雰囲気違和感がなかったこともあり、私はあまり深く考えない性格で状況がそうなったら「ああそうなのね」と思いきってしまう。

Q: 同窓会の歴史上、初の女性会長ということですが。それと卒業後の経歴などを教えてください。

A: 私自身は女性を特に強く意識したことはありません。高校時代も男子が圧倒的に多かったがあまり感じなかった。ただ、群れずに一人で考え行動するという精神が培われ、その後に役立ったかなあ。私の実家が医院(前田医院)で、医者になることも考えたが、父は「体の弱いお前では持たない」と。英語もあまりできなかったけど、軽井沢の宣教師の家にホームステイして学び、

ICUに進んだのです。卒業したら帰って来い、と言われたけど、英国航空の stewardess に採用され、2年後にはフライトで知り合った米国人のお客さんと結婚して米国に定住しました。夫は大学や弁護士、会計士などを対象にした専門書の出版社のトップで、ピーター・ドラッカーらとも知己でした。コロラド州アスペンとニューヨークに居を持ち、日本ははじめアジアを始終訪れていました。

夫は56歳で引退し、その後は趣味の日本の古美術収集に打ち込み、二人で毎年日本にやって来ていました。6年前、病気で亡くなりましたが、古美術品は500点以上あり、デンバーの美術館に「キミコ&ジョンパワーズ」として常設展示されています。夫の死後、日本に戻り、4年前に設計事務所を設立、その後倒産した不動産管理会社などを引き受け、デザインや設計管理、デベロッパーなどの分野でスモールですが堅調に経営しています。

Q: 日本はバブル崩壊後で厳しい経済環境でしたが、見事な決断ですね。

A: これも「あまり深く考えない性格」からでしょう。倒産会社を頼まれて引き受けたが、その会社は優良なノウハウを持っていた。環境がそうなると「ああそうか」と受け入れ順応して来たのです。「人生にはフェーズフェーズがある」というのが私の考えで、新しいものにチャレンジしていくのは楽しいですよ。

(編集者の感想) しっかりと相手を見つめ、話しぶりによどみがない。「あまり深く考えない」というが、根っこに深い人生哲学とチャレンジ精神があるとうかがえた。「コロラドにある50万坪の牧場に10軒ぐらいの家を建てたい」という夢も、狭い空間にひしめくわれわれには、想像外のことだった。

▼会長以外の役員は以下の方々です。

副会長 倉島 彰 (54期)
 〃 成田 邦夫 (56期)
 〃 寺島知恵子 (58期)
 〃 山浦 成子 (63期)
 幹事長 成田 邦夫 (56期)
 会計長 櫻井 資悦 (59期)

副会計長 保屋野美智子 (63期)
 編集長 井上 剛 (61期)
 副幹事長 有賀 勝雄 (59期)
 〃 白井 透 (60期)
 〃 笠井 徳爾 (61期)
 〃 田島 善光 (62期)
 〃 川村 恭司 (63期)

副幹事長 石井 則男 (64期)
 〃 上原 昇 (65期)
 〃 高寺 好一 (66期)
 〃 水島 良子 (67期)
 〃 倉沢 裕 (69期)
 監事 大久保治夫 (56期)
 〃 山邊 光一 (58期)

●大半の方はご存知かと思いますが、しばらく前から当会は、財政問題に悩んでいます。これは、会費納入率の向上と、会費以外の収入策を講じることの必要性を示しています。新執行部は、この問題に取り組まねばならないことを自覚しております。また、それには会員の皆様のご協力が要請されます。よろしく願い致します。(倉島 彰)

●自由で対等な人間どうしの交流が、同じ高校を出たという一点から生まれる不思議な世界が同窓会です。
 新しいオフィスでお目にかかりましょう。ここで発見や感動を積み重ねていけたらと願い、精一杯お手伝いするつもりです。(寺島知恵子)

●同窓会って、誰かが本気で支えているんですね。必ずしも必要ではないかもしれない会を、一生懸命運営している人たちって、ちょっと魅力的なんです。心の余裕と、遊びがある場のようなのです。そんな人たちに誘われて今年副会長を引き受けました。結構大変、そして結構面白いそんな3年になりそうです。(山浦成子)

●この度、再度の幹事長を副会長職と共に仰せつかりました。前田喜美子会長のモットーでもある、「楽しい同窓会」の実現に努力いたします。但し、「楽しい場面」を設定する為には、少なからぬ《縁の下のヘルプ》が必要です。役員の皆様、会員の皆様のご理解とご協力を切にお願いたします。(成田邦夫)



第3回母校社会講座

同窓会が母校に講師を派遣する「社会講座」の3回目、9月に開かれた。

今回は、一年生に職業理解を深めさせる目的で、講師は、教育・福祉、医療、国際関係、法務、マスコミ、芸術、技術などの13人。長野地方裁判事三輪陸さん(27才)やピアニストの西澤真理子さん(31才)らの講義を一年生360人がそれぞれの興味に従って聴講した。

関東同窓会からの講師は次のとおり。

■丸山俊二さん(54期・元外交官) 「外交官の仕事 国連について」

■甲田洋二さん(56期・武蔵野美術大学教授) 「芸術・デザイン全般」

■甲田幹夫さん(65期・天然酵母のパンで有名なルヴァンのオーナー) 「料理・おいしいパンの話」

■船渡和男さん(72期・日本体育大学教授) 「スポーツ科学・オリンピック選手強化」

松尾税友会に新会長



松尾税友会第五代会長に上田市で税理士業を営む小山秀典氏(48期)が就任した。

初代会長丸山英人現名誉会長(36期)から数えて五代目、郷里上田からは初めての会長となる。地元税理士会で要職を経て人望も厚い。上田市で小山秀喜氏(73期)ら資格を有する親子三人を中心に経営する事務所会長である。

松尾税友会は昭和45年に創設して35年になる。

本法規出版(株)で「新会社法」著者である公認会計士緑川正博氏(70期)が講師を勤めた。

参加者には丸山氏のほか、我が国法曹界で税法学を確立した税法のバイブルとも言われる「租税法」の著者、東大名誉教授金子宏氏(47期)や44期から高橋昭平氏、竹内秀彦氏、元国税庁徴税部長林正夫氏も出席して、国レベルの高い勉強会となった。

現職員からは出席したいとの強い要望があったが、折からの「公務員倫理法」の関係で見送られた。【赤池三男(58期) 松尾税理士会幹事長】

球友会だより

新年懇親会は1月22日12時半より上野東天紅にて。賛助会員のご参加もお待ちしております。(連絡先: 成田045-864-5835)



ヤクルトが古田新監督になるので、ヤクルト球団専務、セリーグ理事長倉島今朝徳氏(58期)に編集部が話を伺いました。倉島氏は一年中ヤクルトの全試合を観戦し、その時の選手の手紙を細かく記録して、契約更改の資料にしているとのこと。

変わらぬ情熱と御苦労に感服しました。また、楽天のユニフォームの買収についてはベイスターズと両方支配することになると批判的でした。

新幹事に 上原昇さん (65期)



前執行部石井光春会長の発案で始まった同窓会ゴルフコンペは、宮島前副会長の尽力で第5回まで続けられました。私もサブ幹事でお手伝いをしてまいりました。

これまでのコンペには、年齢、性別を問わず多くの皆さまに参加していただきました。現執行部でのゴルフ会もただスコアを競うだけでなく、幅広い年代の同窓生が交流できる楽しい場としたいと思っております。皆様の御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

職業会計人124人。現職職員32人を擁する。名簿には今年新たに会計人6人、現職2人が判明し登録した。

今年の総会は、八月上田温泉祥園で開かれて小山氏が推された。上田市での総会に出席できなかった会員のために十月、東京・アルカディア市ヶ谷で新会長を披露した。なお、披露と共に勉強会を開き、新日

第1回化学班OB総会、開催される!

昨年化学班OB有志が初めて集まった懇親会の席上「化学班も運動部のようにOB会を結成し持続して集まろう」との提案がなされ、この1年間名簿の作成に努めてきました。その結果約50名から成る名簿が作成出来ました。今回はこの名簿に基づく正式なOB会の発足であり、女将が染谷高校出身である中野坂上の居酒屋"巴"で8月に開催しました。前日の台風11号等の間接的影響があり15名の参加予定が13名になってしまいましたが、上田市や山梨県北杜市の遠方からも無事に参加できました。

会則制定後、会長に大野和男氏(56期)、幹事長に高橋福幸氏(58期)を選んで懇親会に移りました。化学班恩師であられた清水周先生(47期)の御経歴や信大繊維学部時代の御研究(絹糸の構造等)の紹介の後、各自が自己紹介。その後夫々相手を選んで恩師の状況・化学班の今昔物語・異業種交流・世間話等々に花を

咲かせました。判明した化学班OB50名中5分野(医学・歯学・理学・工学・農学)に8名もの学位取得者が居る如く、OB各位が夫々の分野で大活躍していることが判明しました。『本会がもっと昔に開催出来ていたら』とか『この人材を母校や郷里の為に少しでも生かせたら』と思う昨今であります。

参加者は清水周恩師(47期)、中島宏(51)、大塚教夫(53)、大野和男(56)、児玉三明(56)、宮原勉雄(57)、矢嶋瑞夫(58)、高橋福幸(58)、池田憲計(59)、萩原清人(59)、馬場裕三(59)、橋本宏達(73)、古平明尚(82)の各氏でした。来年は8月の土曜日に第2回を開催する予定です。少しでも化学班或いは物象部(物理班・写真班・化学班)に所属したOBは申し出て下さい。(高橋福幸記: 電話&Fax. 046-285-1086)



特別企画 64期座談会

団塊の世代の喜びと悲しみ



出席 (64期の皆さん。清水さんは準備会、藤巻さんは座談会のみ)
 石井 則男 (社団法人共同通信社)
 小松 正佳 (みずほ信託銀行)
 清水 淳郎 (株式会社碧水社)
 野村 一 (第一法規株式会社)
 箱山 博見 (東芝電波プロダクツ株式会社)
 藤巻 礼子 (旧姓山浦) (元音楽商事、現在地域で「童謡の会」主宰)
 村居 次雄 (日本物産株式会社)
 司会/成田邦夫 (56期・幹事長) /井上 剛 (61期・編集長)

映画のシーンのような 青春の思い出

《第一回目の準備会では、主に高校時代の思い出が語られた。》

(編集部より) 64期は団塊の世代である。この期と次の期だけが9組あった。この世代はいやでも競争と選別の波にもまれながら、しかしまた、戦後民主主義の平等という理念も体の中に生きていて、競争と平等という二つの価値をてんびん棒の両端にかついで揺れながら生きてきたと言えるだろう。

座談会を開くにあたって、出席者を誰にし、どのように声をかけるかの話し合いから始まった。結局普段から同窓会に関わりの深いみなさんにお集りいただくことになり、表のようなメンバーとなった。

▼先生で印象深いのはポチ先生。秀才はポチ先生大好きだった。
 ▼国語の北河原平造先生。何も見ずに講義して、スメラミコトなんていうんだもの、びっくりした。

▼田子壇先生も。万葉集のある歌が菅平を指しているというのが持論で、「土屋文明先生に言っているんだけど最近旗色が悪い」とおっしゃっていたが、最終的には定説になって菅平に碑が建ったそうだよ。

▼音楽室に石膏の裸の像があったの覚えてる？ ダビデみたいな。ちんちんまでちゃんとできている。ところがある時それが赤チョークで塗られていた。次に行ったらちゃんと直っていたから永井彰先生が消したんだね。真面目だったから。(笑い)

▼僕らの担任は井出賢次先生。放任主義で大学も行きたいところへいけ、という主義だった。別の組の担任はデータを沢山持つていて、「受けない」と言っても「ムリだ」と。それで3月に井出先生はその担任に言われたそうだ。「ずいぶん残しましたねえ」と。しかし2年目にはみな入ってしまったので今度は頭を下げられて「自分の方針は間違っていた」と言われたそうです。

▼清水次郎校長は全員面接をやったね。清水校長で覚えているのは、ある高校を相手に試合をやった時、応援の仕方がまずかったんだね、「勉強で勝負しろ」とか。それで全校で呼ばれて「お前ら恥ずかしくないのか」と。倫理社

会も自分で教えておられた。
 《以降、第2回目の座談会》

井上 では、また高校時代の思い出から。藤巻 私達女子は女子更衣室に荷物を置いて教室に通った。先輩も一緒だからあの中で色々話した。女子は仲よくて、

テストが終わると映画を見に行ったり、うさぎ屋という喫茶店で音楽を聴いた。クラスでは遠足で山登りしたり。男子は荷物を持ってくれたりやさしかった。照れたりしなかったですね。

野村 僕も映画が好きで毎週土曜日に見た。琴光堂の裏の古本屋に「映画の友」などが2ヶ月後に出て、それを切り抜いて自分が見た感想と一緒にスクラップブックを作った。学校のノートよりも沢山たまった。高校時代の楽しい思い出です。

小松 私が入って一番ショックだったのは試験があつて、上位50番ぐらいまではりだされること。授業として特徴的だったのは芸術科目の一つとしてドイツ語が選べたこと。医学部に行く宮坂君等と50人ぐらいで大澤先生から教わった。大学に行つて合唱やったが、ドイツ語には自信を持てた。

石井 僕は電気クラブを3年間やった。音楽室の前の階段の下に部屋があつて、アマチュア無線をやった。松尾祭

の時は夜遅くまで準備した。あと、駅伝あつたでしょ。(皆 うん、あつたあつた。)

無線で中継しようということになり、途中に中継点を作つて、放送した。今何組が通過したとか。今のよう

趣味は兜集め。座談会の日にも一つ手に入れてきた。その戦国兜を手で解説する清水さん



1回目参加の清水さんは、高校時代は郷土班。

「上田城の模型ばかり作っていた。松尾祭にも、ボール紙を重ねてサンドペーパーで磨いて、「これが千鳥が淵だ」とかいって発表した。」

「ビジュアルでなくてはいけない。心がこもっていた。」と当時を振り返る。歴史好きで国学院をへて現在出版の仕事についているが、この経験は今でも生きている。今学研から発行中の「歴史群像シリーズ：よみがえる日本の城」は清水さんの編集製作。特に上田城は自分で撮った写真や解説がいっぱい。「上田城周辺は史実に忠実に再現すべきだ」が持論だ。



松尾祭での郷土班の研究発表



村井 僕は依田君等から生徒会長やれと言われてやった。松尾祭の時には泊まり込んで、生徒会担当の坂口先生に夜中に怒られてドライバーの頭でコツンとやられた。見回りをしていたんだらうか。もつと真面目にやれということだったと思う。

井上 怒られた記憶も青春の思い出ですね。

野村 僕はクラブはサッカーをやった。練習ばっかりの生活だったけど、木造の校舎を赤い夕陽が染めてたのが上田のイメージとしてずっと残っている。あと、「拳世の浮華に迷はんや」。上田高校で一番価値があったのはあの言葉が頭の中にしみついたこと。

箱山 私は駅伝で走ったのが懐かしい。美しい上田の街並みをはっきり覚えてる。校庭から陸上競技場北側の方までの比較的短い距離。なぜか、上田公

園入口近くの図書館前へ来ると、染谷高校の女生徒が応援していた。晩秋の雨上がり、図書館の木の枯葉が舞う前で2名の応援する染谷の生徒、あの紺の制服と赤いパッチでの黄色い声援が今でもくつきりと思ひ出します。その応援で、元気が出て自分でも信じられないスピードで走れました。ところが、陸上競技場北側道路の周りが稲が実っていて、誰も応援がない所へ行くと、すっかり疲れて足が動かない。いかに応援、特に女性の応援が大切かを実感した次第でした。僕に



駅伝、がんばれファイター

とっては映画の一シーンみたいな甘酸っぱい思い出です。

成田 染谷と言えば、私の場合も放課後野球部の練習で上田市営球場に行き返りした時、隣接する陸上競技場に練習で来ていた染谷陸上部の、依田郁子さんとはしばしばすれ違う機会があった。陸上用のショートパンツからはみ出したスラリと伸びたカモシカのような長い白い足が眩しかったのが、今でも目に残っています。眼が大きく、潤んでいるのかな？ と思わせるようなところがありません。当時彼女は、長野県の高校陸上部では、女子ハードルのトップ・ランナーでした。その後、確かりッカーミシン陸上部に所属し、東京オリンピックには決勝まで進出したが入賞は残念ながら逃しました。小生の家内は染谷で彼女とは同期でしたので、時には話しに出る事があります。

機械がうまく動かなくて夜中でも呼び出された。なぜこんなにトラブルが多いのかと先輩に聞いたら、「お前よう、ゼロから作るのは大変なんだ」当時は開発イコール納品という時代だった。僕も長野放送に納めた時、後輩がいたりして楽しかった。しかし、いざオンエアになっても音楽が入らない。10時ぐらいまでかかって、怒られた。でも、放送局に行く順番のリハーサルやっていて、見せてくれて、松田聖子とか石田あゆみ、かわいかった。「BSに行った時とき、急いでいたので開いたエレベーターに飛び込もうとしたら出てきた河井奈保子のおっぱいをさわわりそうになってしまった。(笑い)

今は防衛庁に納める会社が変わったけど、入社して3年間に何をやるかが重要で、それが天職みたいになっていきますね。

藤巻 私は国立音大に進んで、リトミックとって即興で身体表現をさせながら集中力や創造性を養い、表現力を高める勉強をした。就職は音楽商事。幼稚園や保育園に楽器などを納める仕事で、サービス講習といって納めた楽器の使い方などを教えていました。2年間で結婚してやめました。今でもその関係で、3つの園で子供や先生の指導をしています。また、地域で月に一度、「童謡の会」をやっています。これには40台から90台までの成人がきます。音楽科に進んだのは今上田の先生をしている長谷川さん（国立音大）とお茶の水に行った大井さん。永井先生に特訓された。東京にもピアノのいいこに通ったけど、今考えると楽しかった。



入って、放送局に納める機械の設計をしていた。納めた

井上 みな、いい青春でしたね。依田さんは丸子の出身ですね。オリンピックなどで走る前に、逆立ちをして精神統一をしているのをテレビで見ました。当時としては、個性的吧。では、この辺で、卒業後の歩みを伺いましょう。

箱山 僕は、技術系ということで、信大の電気科に進んだ。就職は東芝。放送事業部

と、というところに



村井 僕は上智。法経やっておけば食
ついでいけるかなと。
大学では大学新聞を
やっていたが、70
年安保が近くなると

騒がしくなって、周りに逮捕者もでた。
学園封鎖もあった。語学は外人の先生
で、1、2年は一日に2時間ぐらいず
つあって苦労した。勤めは日本物産と
いう第一生命の子会社。生保の外務員
のためのプロモーショングッズを扱っ
ている。入社したころは拡大期だった
がバブルで打撃を受け、中年になって
からはリストラで若い人の希望退職を
ついたりとか眠れない日を過ごしま
した。

井上 管理職にはそういう苦労が多い
ですね。いま、正社員とか派遣社員と
か、階層的になっていきますね。どう思
われますか。

村井 いろんな働き方があって多様化
してくるんでしょうけど、正社員と派
遣社員はあまり馴染んではいないんじ
やないかな。

小松 それに、会社の中での社員教育
というものがなくなった。一人一人を
育てていくのではなく、必要な業
務があると派遣などでそこに当てはめ
ていくという感じ。まずコストありき
で、果たしてこれでいいのかなという
感じがします。

野村 今は国自体がそうですね。百年
の大計とかがない。大企業も長期的な
戦略がない。無いこと自体が現実的
みになりたい。ただ、我々はま
さに「挙世の浮華に迷はんや」が大切



小松 私は東北大学の国際経済を出て安
田信託銀行に入りまし
た。信託銀行は銀行が
信託業を兼ねることが
できるという法律のもと

7つの銀行が認められてやっていた。し
かし、拓銀、日債銀、安田が危ないと風
評がたつて、支店にいると取り付け騒ぎ
で段ボール5箱ぐらいの札束が出ていく
という時期もあった。その時支えてくれ
たのが安田生命だった。信託銀行がバブ
ルの後どうなっているかというところ、かつ
ては「高金利は貸付信託」ということで
個人資産の運用をしてきたが、クラッシ
ユ以来今は普通の銀行の一部門という感
じになってしまった。株式の名義書き換
えや法人に対するコンサルタントが主な
業務で個人顧客がなくなってしまったの
が寂しい。

石井 私は電通大。神田の明治の側で催
涙弾の側を通ったこともある。就職は共
同通信。外国のニュースを短波でセツト
しておくのとテレタイプで入ってくるとい
う部署。夜中泊まりながら。アマチュア
無線の延長線上ですね。今は無線でなく
インターネットでやっているけど、それ
を私の職場でやっています。共同は、全
国の新聞社、放送局に国内や世界のニュ
ースを取材して流すという目的で作られ
た社団法人です。信毎も共同を作ってい
る有力な新聞社の一つです。政治だけ
なく、大リーガーなども共同で取材し、
そのうち必要なものを各メディアが配信
という形です。ちなみに関東同窓会の



野村 私は私を作っています。
野村 私は先程話したように映画が好き
だったので映画会社に行
こうと思っていた。そ
のためには社会学部が
よいということ、当時社
会学部が一番いいと言われた一橋に行っ
た。当時映画は最盛期で東映とか大映と
か試験は7次ぐらいまであって、5次、
6次ぐらいまで行くけど結局だめだつ
た。次の希望は外国に行きたいというこ
とで住友商事に行ったら無試験で入れて
くれた。コンピュータの部署で、アメリ
カから輸入した部品を東芝や日立、ZTC
に回して、労働力で加工して輸出する
という仕事。税関に行つて説明して輸入し、
それを工場に届け、税関に行つて説明を
して輸出するという毎日でした。その後
通信機器がどんどん売れるようになり、
香港、アメリカなどの駐在に。ゴルフの
キャロウェイを紹介したのは私です。そ
の後ノエビアのコンサルタントなどやっ
て、いまは第一法規で監査をしながらイ
ンターネット関係をやっています。

成田 夢は実現されましたか。

野村 今でも何やりたいのか分らない
自分だけど、それを考える3年間を与え
てくれた高校に感謝しています。

井上 高校時代、何かになるうと思つて
いましたか。

箱山 僕は社会というものがどういうも
のか全然分からなかった。たまたま数学
や物理が好きだから技術系かなぐらいで
やってきました。

村井 社会も変わっていくし、これだけ
しかないということではない。その場そ

の場の適応ということが大事だと思う。
藤巻 勉強だけでなくカルチャーの部
分、心を豊かにする部分が何か一つある
といいなあと思いますね。私もピアノを
やっていたことが今に繋がっています。
小松 私も大学で合唱団をやりました。その後
新潟コーリアカデミー、京都混成合唱団、
町田市民合唱団と仕事で行く先々で喜び
が見出せた。

井上 団塊の世代は会社の形態や仕事の
内容がどんどん変わってきたのが特徴で
すね。そして団塊の老後はバラ色か悲惨
か、まだまだ模索が続きます。皆さんは
豊かな人生を歩まれることと思います。
今日はどうもありがとうございました。

特集 64期情報

64期会(武士ものふ会)

2005年10月15日(土)午後6時、上田
市内の「ささや」で開催され、38人が参加し
ました。冒頭、64期代表幹事の平野仁一さん
(9組)から「会員大会の当番期が昨年で終え、
今年から幹事をクラス持ち回りで、同期会を
行うことになりました」と開催主旨の挨拶が
ありました。乾杯の後は、それぞれの会話の
輪ができ、高校時代の思い出、近況を語り合
うなど盛り上がり、3時間を過ぎました。
卒業以来初めてで忘れていた人を思い出し
たり、名前を聞いても思い出さない人もいた
り。40年もの歳月が過ぎ、それぞれ違った人
生を歩んでそれぞれ違う今の環境。しかし、
同じ青春時代を過ごした仲間、すぐに意気投
合して楽しいひと時となりました。
同窓会名簿をコピーして東京から参加した
成沢さん(9組)さすがです。僅かな情報で
も話題が広がります。



最後に、応援団副団長だった萩原さん(9組)のリードにより、全員で校歌や応援歌を歌い、記念撮影をして散会しました。「希望に燃えた人生の最盛期は過ぎましたが、これからの味わい深い人生。「青春とは心の若さである」をモットーに、格式ある例会に盛り上げていこう」と東京から参加した箱山さん(7組)。



64期は、恩師との交流も続いている

64期 第1回クラス対抗ゴルフ大会

(2005年10月16日、立科ゴルフ倶楽部) 第1回クラス対抗ゴルフコンペは2005年10月16日(日)快晴の立科ゴルフ倶楽部にて県外からの参加者も含め19人で開催されました。団体優勝は2組、個人優勝は宮原俊雄さん(3組)、準優勝・関野芳信さん(2組)、ベスコロ・宮原俊雄さん(3組)でした。参加したのは1、2、

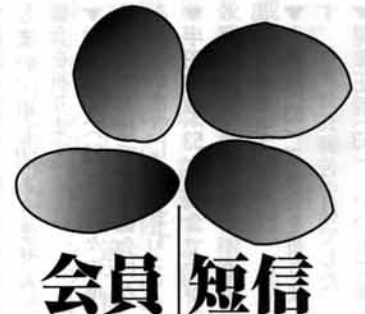
3、5、8、9の6組で4、6、7組は次回、ぜひ参加してください。さすがに上田高校の卒業生、シングルプレーヤー3人を含む、腕に自慢のゴルフアが勢揃いし、クラスの名誉をかけ、熱戦が繰り広げられました。中でも2組は7人が参加、一軍二軍で出場し、来年はクラス内で予選をするか、という話も。また、足の運びの怪しい人や腰つきの危ない人などいろいろでしたが、事故や怪我が無く幕を閉じました。

この大会のために、ワールドカップ並みの立派な「団体優勝と準優勝カップ」が用意されました(持ち回りで向こう10年使用)。同級会の折にはこのカップで回し飲みをするのと更に気分が盛り上がるでしょう。「今年9組の担当ですが、私もお手伝いしました。ゴルフも後何年できますかね? まー、気楽にバカを言いながら楽しめるのがクラス対抗ゴルフコンペです」と金子哲也さん(2組)。「来年も日頃の鍛錬の成果をいかんなく発揮し、上田高校64期、ものふ(武士164)の意気を示したい」と東京から参加した成沢広行さん(9組)。

天気予報に反して絶好のゴルフ日和に恵まれた事が何よりでした。次回の幹事は8組で小宮山さんにご苦勞いただき、諸々取りまとめていただくことになりました。各クラス責任者の絶大なるご協力を!

64期のみなさんへ

7月に開催される第45回総会は、64期の皆さんが実行委員の当番期です。当番期は、大会の企画や当日の受け付け係などの仕事を協力して行っています。皆さん1人ひとりの協力をお願い致します。



会員 短信

(昨年の総会直前の返信ハガキに記されたものです。氏名の下の数字は卒業期です。事務局よりのコメントは成田幹事長です。)

▼宮崎光邦(32) 会報嬉しく拝見しています。90の年齢となりました。足腰が痛く、自由が利かなくなりました。(幸寿、お元気で)

▼中村禮三(32) 目下、左大腿骨骨折でリハビリ中。総会には何とか出席できそうです。(編集部より 回復してお元氣な姿をお待ちしています)

▼瀧澤克己(36) 86歳になり相手がたがきておりますが、一応元氣です。まだハーフラウンドぐらいのゴルフはやっています。ご盛会を祈ります。(ゴルフ同好会にもぜひご指導を)

▼藤澤嘉雄(36) 総会当日は皆で上田高校の凱歌や校歌を大合唱しますか。小生が陣羽織と鉢巻姿で音頭をとります。(毎年ご苦勞様です)

▼岡清助(37) 会報で「凱歌考」ありがたく拝読。会報はわれら世代の唯一の情報源、そして支えでもある。校名をはずかしめないよう、そして校名は力であつた。5年制のころが懐かしく、

母校と言うにはこの制度がふさわしい。若き魂を燃やしたあのころが一生の中で一番思い出が多い時代だった。

▼矢嶋仁(38) 老体をパーキンソン病とやらに支配され、不自由の上ない日々を送っています。(お大事にしてください)

▼菊地博(39) 身体の調子が良くないので老齢でもあり総会は欠席します。

▼森山博司(40) 高齢、体力衰弱のため心ならずも総会を欠席します。

▼吉田節生(40) ぎりぎりまで調整しましたが残念ながら欠席します。

▼渡辺守(40) そろって校歌を合唱、青春をしてください。

▼清水栄一(41) 交際が広く、会費を収めたはずなのですが確認ができません。未納がありましたら必ずご請求ください。(いただいております。同封の会費案内をご覧ください)

▼生島信夫(41) 会報拝読。常にビジョンを持ち続け、究め創られる編集諸氏のご労苦に感謝します。長野県高校同窓会東京連合会総会に講演を依頼され、構想を巡らせています。課題を背負うことは、清新の気溢れ、「緊張感の高まりを覚えませぬ。」「凱歌考」を拝読、これは貴重な論文です。大切にします。幹事長は常々広い立場にあつて素晴らしいリーダーシップを発揮され、感銘を受けています(東京同窓連合会と当方の日程が重なり、ご高説を伺えず残念でした。)

▼川尻悦三(41) 総会も出席す

る仲間が少なくなりましたので、今回も失礼します。女性の会長、大賛成です。(これからもお元氣な姿を見せてください)

▼金沢光男(41) 旧制上田中学卒は大分少なくなつたようですが仲間に入れてください。4月、上田で真田祭りのころ、母校正門のたまたまいいを見てきました。いいハカたちですね。

▼藤澤正吉(41) 筆頭代(戸籍筆頭者)も代わり、また老齢のため(高齢で年会費も不要になつたため)すべての印刷物等の送付を遠慮しますのでよろしく願ひします。

▼小林孝雄(42) 諸事重なり多忙のため残念ながら欠席します。

▼佐々木三夫(43) 04年末、東京文化会館大ホールでの演奏会に合唱団メンバーとして加わり「第9」を歌つたり、元氣に過ごしています。上野敏雄、松園裕君らが物故され、適宜数名で集まる程度の活動をしています。

▼梅田實(43) 私達43回A組は昭和38年以降、別所温泉つるやで同級会を毎秋行っています。最近では20人前後集まりますが、05年3月30日には臨時同級会を開き、上青木竜洞院東堂の村上博優師の中国訪問100回を記念して04年11月に寧波市で行われた表彰祝賀会に際して、祝賀会で贈られた寧波市夏乃平先生の石碑を同級生に語り童洞院に建立。

事務所移転のお知らせ

役員や一般会員の会議のほか、パソコンを常設しホームページを開設するなど利用されてきた西麻布事務所は、年末をもって契約を終了しました。3年間にわたり、破格の条件で貸して頂いた馬場武彦さん(54期)に深謝致します。

新事務所は、新宿区四谷4-24 御苑ハイム6Fです。地下鉄丸の内線「御苑前」又は「四谷3丁目」、都営新宿線「曙橋」から6~10分程度です。7、8人程度までのミーティングにも御利用いただけますので、会員の皆様も積極的に御利用ください。(詳しくはホームページを)

なお、執行部では、皆様からの基金(05年末で約千万円)をベースとして事務所の購入も検討しています。積極的な活動を行うためには、拠点となる事務所が必要です。会員の皆様からの物心両面の御支援を切に期待致します。(執行部)

同日除幕式を挙行し、級友の健闘を喜び合いました。(益々のご活躍を)

▼古平照男(44・5) あいにく総会前後に旅行を予定しています。ご盛会を祈ります。

▼堀内茂雄(44・4) 女性会長おめでとございます。

▼星野賢造(44・4) 出席したかったのですが、体調が悪いので欠席します。ご盛会を。

▼掛川暉夫(45) 当日、医学術集会があります。時間があれば出席したいのですが。

▼水沢博(46) 人生劇場3幕目も10年。悠々自適には程遠しといえども忙ならず閑ならず、日々楽しくやっています。

▼牧内操(47) 今は誰も住んでいない真田町の旧宅を約1年がかりで改築しました。今は清々した気分です。これからどう使うか。さし当たって老人集会所にでもしようか、などと考えています。

▼上野平八郎(47)元気な二人

の内孫に振り回され好きなゴルフや囲碁を楽しんでいます。

▼窪田富男(47) 体調を崩しており失礼します。

▼中澤利雄(48) 糖尿病治療中ですが地元自治会の世話役で日々元気にしています。

▼堀内惇(48) 会報第73号で松尾倶楽部について詳しくご紹介くださったありがとうございます。人たちが集う会を目指して活動し、同窓会の充実も視野に入れて参りたいと存じます。

▼松岡秀夫(49) 次のホームページを開設しました。内容は北海道大雪山系の高山植物です。3回に亘る登山で撮りためたものを花の色別に分類し、図鑑風にまとめたものです。6月中旬には白馬岳の高山植物に変える予定です。

▼白田稔(51) 天気晴朗、丈夫で長持ちしています。

▼保坂利勝(51) 久しぶりに母校の校門を見、上田城の満開の桜を眺めました。「今日ひと日 心つくせし さくらかな」とお堀端で一句。

▼内久根孝一(51) 囲碁の普及で海外に行くことになっており、欠席します。

URL: <http://17.Ocne.jp/~diyasa>

▼藤塚衛(49) 役員をしている大学運動部(水泳部)の年次総会に出席するため悪しからず。

▼大石和夫(49) 妻の介護に専念中です。盛会を祈ります。

▼花岡潔(49) 常日頃はお世話になります。同期の滝沢朗君・三鷹市在住、上田市出身が「瑞宝中級賞」を得ましたので連絡します。

▼滝沢主計(50) 先日eメールで「凱歌考」吉村武生氏の件で連絡しました。毎回のこととはいえ、今回も欠席させていただきます。盛会を祈ります。

▼八木浩輔(51) 当日は勤務先の浦和大学評議会のため欠席します。日本の高校、大学生の基礎学力と学ぶ意欲が少しずつ低下しているのは残念。母校が1年生で文系・理科系の選択をさせ、スケールの小さい若者を創るのには良くない。皮肉にも受験対策としても成功していません。

▼有賀秀雄(51) 予定が入っており欠席します。大会が新会長の下、盛会でありませう。

▼白田稔(51) 天気晴朗、丈夫で長持ちしています。

▼保坂利勝(51) 久しぶりに母校の校門を見、上田城の満開の桜を眺めました。「今日ひと日 心つくせし さくらかな」とお堀端で一句。

▼内久根孝一(51) 囲碁の普及で海外に行くことになっており、欠席します。

▼小林真一(51) 会報「うえだ」で皆様の近況情報を得ております。会の運営御苦労さまです。

▼龍野勇介(51) 幹事さん御苦労さま、お世話になっております。

▼上原隆雄(51) 新しい会の方向付け、大変良いと思います。新会員の増加につながればと思います。

▼橋爪今朝男(52) 所用で出席できず残念です。空元気の内容も残っています。6月下旬、私にとってはラストチャンスでしょうが、荒川の源流を目指し甲武信岳に挑戦する予定です。

▼柳澤忠(52) 第29回平旦会(軽井沢、御代田、小海線沿線から上田中、高校へ通学した卒業生の会)は05年2月4日、中野坂上「巴」(上田柴谷OGの経営)で開催。軽井沢から柳澤廣先輩(44期)を迎え、8名が出席した。先輩後輩と年齢の隔たりはあるものの、きのこ鍋を囲み、美酒を酌み交わして大いに語り合っています。

▼森浩一(52) 諸事重なってしまい、申し訳ありません。盛会を祈ります。

▼堀内忠久(53) 諸々の準備、御苦労様です。盛会になることを希望しています。

▼半田喜章(53) 残念ですが6月末から1週間ほど不在で出席できません。

▼上原隆(53) ご盛会を祈ります。石井会長御苦労様でした。

▼尾澤正毅(53) いつも一案

共同通信の会



共同通信上田高校の会は10年くらい前まで定期的に会合をしていたが、最近再び現役が集まるようになった。10月12日に真山隆夫(61期) 浅野幸司(63) 石井則男(64) 松本哲夫(67) 君波昭治(70)の5人で飲み会をした。今後、小杉武中島宏(51) 赤池孝之(52) 宮島光男(55)の各OBにも声をかけ復活させたい。女性記者として鳥取支局には佐藤亜希(92)がいる。母袋上田市長の親戚であり、染谷高校男子1期生の母袋俊昭もいる。

内頂き感謝しています。松尾倶楽部とは経済人のみかと思っていました(会報で)理解できました。

▼塚田靖(53) 69歳も過ぎ少々体調の不安を感じるこのごろです。仕事量も軽くしていかなくてはと思っています。

▼山邊一磨(53) 「氏」について「山辺」としてきましたが、「辺」の字を戸籍登録による「邊」に変更をお願いします(変更しました)。

▼服部聡一郎(53) 5月18日、渋谷「円」にて53期8組東京定例会を開きました。幹事は掛川多美雄君でした。

▼甲田裕茂(53) 5月22日、卒業50年祭、上田で記念植樹、同期全体の会、クラス会に参加してきました。それぞれ元気でした。わが6組は10名参加でした。

▼掛川一彦(53) 卒業50周年を迎え、われら53期生は新緑の上田城に集結、記念事業として山

▼古見喜八郎(54) 同期の石井光春君に続き前田喜美子さんが会長になるのを知り、心強い限りです。総会は都合がつかず残念です。

▼倉島彰(54) 前前からの重要な用事があり出席できません。ご了承ください。

▼桜井敬(54) 国分寺市に住んで5年になるうとしています。当時は北多摩郡国



カムカム寄席

コスタリカと落語

在コスタリカ日本国大使館
専門調査員 橋本 真弓

中米コスタリカの日本大使館に赴任して早1年半。四国と九州を併せたほどの領土に約400万人が住み、世界の生態系の約5%が集中していると言われ、1948年には軍隊が廃止された。昨年は、政府が出した米国イラク攻撃支持表明が、1人の大学生の音がきっかけで、憲法法院で違憲とされ、支持が撤回されたという、非常に独自性を持つ国。日本はこの国と外交関係樹立70周年を迎えた。

この両国国民の相互理解を深める役割を果たすのが大使館である。既に人気のある車やアニメ、すし以外にも日本の奥深い文化を知ってもらいたいと、7月に第3回目の「日本週間」を開催した。茶道、書道、邦楽、空手、柔道、日本語弁論大会等様々な角度から日本を紹介し、取りを飾ったのは私が参加した「落語」。コスタリカ人になじみのない「正座」した噺家のセリフと袖に隠れたお囃子の効果音で、聴衆1人1人に想像の世界を創ってもらい、それが愉快だと感じさせる、300年以上の歴史を持つ古典芸能である。どうすれば、より楽しんでもらえるだろうか、ということと、私は「スペイン語落語」に挑戦した。古典落語の「饅頭こわい」をコスタリカ人の大好物「チャチャロン（豚肉の唐揚げ）こわい」にアレンジ。初めて落語に接するコスタリカ人に興味を持ってもらえるようにした。観衆の笑い声を聞いて、日本文化を共有することができたとうれしくなった。

さらに日本語を学習するコスタリカ人の学生が、日本語で落語をし、スペイン語の字幕をつけるという試みも大成功。落語を通じ、一方向ではなく、相手の文化や習慣を尊重した上での日本文化を紹介することで、お互いの理解がより深まることを実感した。これからも日本とコスタリカの独自性をうまく活用し、両国の理解促進のために取り組んでいきたい。

分寺町でした。あの頃から街並もすっかり変わってしまっ
て武蔵野の林野の面影が失わ
れてきています。残念！目下
は一病息災で年齢なりに元氣
でやっています。

▼古谷隆男(54) 小生愛知県
在住です。関東同窓会のメン
バーの資格もないと思います
ので、今後はご放任ください。
今までのご好意に感謝してい
ます。

▼田中嘉親(54) 土曜日も平
日勤務のため総会に出席でき
ません。同期の前田会長に期
待しています。かげながら基
金の面などで協力させてもら
います。しばらく現役が続き
ます。(ご協力ありがとうございます)

▼黒岩千鶴子(54) 石井会
長、3年間ありがとうございました。
新会長、ドラスティッ
クな変革を期待しておりま
す。

▼馬場雄二(54) 4月より朝日
新聞日曜版に「馬場雄二のデ
ザインQ」を一年間連載し
ています。

▼田村朗(54) 神奈川県下
の低山歩き、鎌倉三浦半島
の寺巡りで足腰の老化防止
に努めて精を出しています
が...

▼内堀真通彦(55) 6月の
松尾倶楽部で(出席を)念押し
されましたがよんどころな
い所用が発生したため欠席
とさせていただきます。

▼川上博美(55) 毎月第一
土曜日は所属山岳クラブの
登山日で残念ながら出席で
きません。

▼坂口守夫(55) 「凱歌考」
楽しく拝読しました。73号
会員短信に岩下美千穂様(29
期)の住所変更の記載があり
ました。在学時の数学担任
の恩師ですので連絡をとり
たいのですが。(電話でご連
絡いたしました。)

▼岡田建治(56) 成田幹事
長、3年間御苦労様でした。
(有難うございます) 56期の

皆さん、関東同窓会は不滅
(?)です。今後ともご支援
下さい。()

▼安田明(56) 事務局の皆
様、日頃同窓会運営に当た
り大変御苦労様です。視力
が回復すれば出席したいと
念じています。(お大事に)

▼赤尾信吉(56) 同窓会当
日、信州で同期会があり重
なりました。ご盛會を祈り
ます。

▼小林建夫(56) 大変御苦労
様です。いまだ現役なので
週末にもいろいろあり失礼
します。クラス会には出た
いですが...

▼羽島昭一(56) ときどき
(幹事長に)お目にかかってい
ますがお元気そうでしょうか
です。連日お忙しいようで
大変ですね。

▼田村功(56) 幹事長、御苦
労様です。元氣に一杯と行
きましょう。(晴れ晴れと飲
みたいですよ)

▼松瀬勝雄(56) お世話にな
ります。3年間ご苦労さまで
した。

▼小山莊司(56) 「関西幹事長」
として来賓出席予定の「松崎
氏」は小生の同期同組です。
仲間5、6人を誘うつもりで
す。「はがき」で気付いた点
を二つ。表の「返信宛先」で
「様」と表記してあるのは通
例の「：行」という表記を
「：様」に書き直させる虚礼
廃止であり大いに結構です。
一方、「切手欄」に「ご恐縮」
の「ご」は不要です。自分の
行為に尊敬語をつけるのはお
かしい、と思います。(「ご」
は校正ミスでした。早速訂正
します)

▼笹沢政道(56) 役員、実行委
員の皆様方、御苦労様です。
總會を楽しみにしています。

▼杉原弘一(57) 16年2月に
桐生(群馬県)より東村山市に
転居しました。

▼畑 勲(57) 残念ながら
毎年このタイミングに軽井沢
で会合があります。

▼渡辺静雄(57) 御苦労様です。
一人でも多くの会員が参加する
ことを願っています。

▼松田光一(57) 57期は3月13
日、14日に上山田温泉清風園で
總會を行いました。片山先生、
伊藤先生のご参加も頂き74名の
盛大な会になりました。2組の
定例会「仁吾会」は定例の10月
に行います。今年で65歳になる
私どもですが一年ごとに老人力
をつけていることを実感してい
ます。

▼宮坂幸雄(57) 大勢の方が集
まるといいですね。

▼高木佳年(57) 7月2日、楽
しい總會ありがとうございました。
大学でも先輩の前田新会長
にお会いできて光栄です。また
これも大学同窓である60期竹倉
征司氏に卒業以来40年ぶりに会
うことができ懐かしい一時を
過ごすことができました。同じ
下宿に住んでいたこともあり再
会の喜びは例えようもありません
でした。

▼寺島知恵子(58) 若い方も古
い先輩方にも女性会員が大勢出
かけてくださいますよう祈りな
がら声をかけております。(本当
に御苦労様です)

▼高橋福幸(58) 前に申し込ん
でいた自衛隊機の体験搭乗に当
選し、總會に出席できなくなり
ました。盛會を祈ります。

▼岩下弘(58) 大学、県人会な
ど「〇〇会」の会が多くてすべ
て失礼しています。しかしなが
ら関東同窓会幹事の皆様のご苦
勞ぶりを拝読し、会費だけは振
り込みさせて頂きます。(苦勞を
ご理解頂き、会費納入ありがと
うございます)

▼関 徹(58) 60歳を過
ぎてますます松尾城を懐か
しむ心が強くなるような氣
がする。久しぶりに同窓会
に出席し残り少ない第二の
職場を青春時代のように元
氣に過ごしたいと思えます。

▼小林芳友(59) 17年5月、
定年退職しました。

▼有賀勝雄(59) 同期に声
をかけ、大勢が出席するよ

西澤真理子リサイタル



ロシアでの4年間に培ったものか。同窓会からの花束を田村(54期)、成田(56期)両氏から手渡され、ステージの彼女に笑顔がはじけた。(58期寺島智恵子・記 53期須田武久・写真)

9月4日午後、千駄ヶ谷・津田ホールでリサイタル。プロコフィエフ「戦争ソナタ」、続いてラフマニノフ「音の絵」と減多には聴けない曲。終曲はムソルグスキーの「展覧会の絵」。耳慣れたフレーズだが重く骨太な音、しかも抑制がきいててしぶとい。彼女が

う頑張ります。

▼櫻井資悦(59) いつもながら御苦労様です。

▼相木弘美(59) 病気療養のため貴会の発展を祈念しております。

▼橋本隆弘(60) いつもご連絡厚くお礼申し上げます。残念ですが欠席します。定年3年目ですがアルバイトをしています。

▼塚田晃(60) 365連休に入ってから、意外に時の経つのが早く慌てています。

▼甲田妻(60) 6月下旬に勤務先を退職し別会社の非常勤監査役に就任します。

▼今井勇雄(60) 第14代執行部の皆様、3年間大変御苦労様でした。次期は初の女性会長が誕生する由、心からお祝い申し上げます。

▼白井透(60) 今回で二回目ぐらいの出席です。新参者ですがよろしくお願いします。

▼田澤洋(61) 16年6月に日清製粉グループ本社を退職しました。住所の町名が変更になり

▼番掛忠(61) 出張と重なってしまいました。

▼笠井徳爾(61) 昨年はドタキャンになってしまいました。今年はずいぶん出たいと思います。楽しみにしています。

▼滝沢進(61) 遅くなりましたが何とか出席できそうです。会社(AIR DO)は17年3月31日に民事再生を達成しました。ご支援に感謝します。

▼佐藤守正(61) 新幹線と高速道路網、ふるさととはグッと近くなりましたが、私の心の中

のふるさとは昔と変わらぬ距離感のままで生き続けています。(佐藤さんが東京に帰ってきてうれしい限りです。佐藤さんは、satomori@worldonline.jpです。井上 剛)

▼片山隆行(62) 定年最後の1年を多忙に過ごしています。当日は先約があり失礼しますが盛會をお祈りしてい

ます。(11月28日付で神奈川県警交通部長を勇退されました。ご苦労様でした)

▼岩井重一(62) 17年3月31日をもって東京弁護士会会長、日弁連副会長の任期が終わり、事務所に復帰しました。総会当日は佐賀県で(財)法律扶助協会の会合があり出張です。現在協会の副会長を務めています。

▼市村光志(62) 先日行われた62期の集まりに参加してきました。皆元気でした。

▼田島善光(62) いつもお世話になりありがとうございます。62期の連絡役を引き続き務めさせて頂くことになりました。

▼武舎良一(63) 仕事の都合で参加できず残念です。

▼飯塚一雄(63) 三郷から文京区へ引越した折に同窓会の連絡が途切れたようです。現在、台湾新幹線のプロジェクトに参加しています。

▼大塚和弘(63) 同窓会都合により欠席ですが、63期の二次会には参加します。

▼宮崎辰治(63) 幹事ご苦労さまです。仕事が忙しく出席できません。

▼中山和彦(63) 損保ジャパンを卒業し平成総合サービスに転出社長を務めています。会社はゴルフ場(甲斐美容カントリークラブ)も保有しています。遊びにお出かけください。

▼角田玲子(63) 定年まであと1年10カ月となったのですが、ベビーブーム世代の女性(家庭を持ち、子供を育てて

きた)の人生とは、こんなものなのかなあ、といったところです。仕事と両立できたり、やりたいこともやれたのでまあまあかなと、自分を激励しています。

▼小松正佳(64) 成田幹事長、もう1期よろしくお願ひします。名門校は同窓会組織も充実しているという事象に出会いました。長男は都立西高を卒業し電気通信大学に進みました。その卒業時にしっかりした同窓会名簿と会報が渡されました。こは上田と同じく西高会館という同窓会館があり、在校生などが自習室などに使っているようです。会報も内容の有るものでした。電気通信大学も同窓会報が送られてきましたが丁寧な編集で同窓生の活動の様子を伝えていました。愛校心が同窓会を支えるのだと改めて思います。

▼吉崎芳郎(64) お陰様で当学園(小田原市風祭、湘南ライナス学園)は17年4月開校以来、前年度までの歩みを基に教育活動を進めて来ることができました。子ども達は遠くは二時間近くの通学時間も珍しくないのに欠席も少なく、元気に活動しています。夏休みにはオーブンスクールも開催、外部生を含む約60名で活動し充実した3日間を過ごしました。夏休み中も子ども達から「学校に行ってもいい」と電話が掛かって来ます。皆様のご支援に感謝し報告申し上げます。(ライナス学園は、会報72号でも紹介し



美智子皇后 嫁ぐ娘への贈り物 文芸春秋12月号 筆者宮原安春さんは58期です。

ましたが、吉崎さんが退職金を投入して頑張っておられる学習障害の子らの学校です。)

▼宮坂信之(64) 60期の東京女子医大黒沢博身教授の執刀で九死に一生を得ました。

▼箱山博見(64) 総会を楽しみにしています。

▼西澤省悟(65) 投資家説明会でロンドン出張中です。ITの国内、海外たばこビジネスの責任者となっており、事業環境の厳しい中、どう舵取りをして行くか悩んでいるところです。

▼山極時生(65) 土曜日は出版社が多く会に出席できず申し訳ありません。次週上田で同期同級会開催との事で久しぶりに出席しようと考えています。

▼田中由紀子(65) 不幸にも仕事。盛會を祈ります。

▼山浦陽士(65) 上京して6回目の転居。24年間住んでいた足立区から荒川区南千住へ大川隔田川を越えました。

▼柳澤光美(65) 16年7月の参院選挙で当選(民主党)を果たすことができました。温かい励まし、ご支援、本当にありがとうございます。より良い政治のため活躍を期待します)

▼高寺好一(66) 成田幹事長、大変御苦労様でした。(副幹事長としてわずかばかりのお手伝いしかできず申し訳なく思っています。総会当日は娘の結婚式で欠席させて頂きます。

▼駒津敏洋(66) 例年必ず出席させて頂いてきましたが、今回は仕事の都合でどうしても出席できません。大変残念です。(皆勤を期待していたのですが…。これからよろしくお願いします)

▼大沢忠夫(66) いつかは出席したいと思っております。盛會を祈ります。(お仕事、頑張ってください)

▼堀内ふき(66) ご連絡ありがとうございます。折角ですが仕事の予定が調整できず残念です。次の機会にぜひ参加したいと思っております。

▼山下一雄(67) いつも会報をお送り頂きありがとうございます。懐かしく拝読しています。

▼水島良子(67) 佐々木美千代(67) 初めての女性会長さんにお会いできるのを楽しみにしております。(大勢の女性の参加を期待しています)

▼西川明子(67) 初め出席させて頂きました。子供達も大きくなり少し時間に余裕が出てきましたので楽しみにしています。(今後ぜひご参加ください)

▼吉村邦彦(69) ご盛會を祈ります。所用で欠席させて頂きます。

▼倉沢裕(69) 母校ダンス



訃報

(心より、ご冥福をお祈り申し上げます)

- 本堂 知道(26)
- 宮入 正道(26) H17
- 依田 嘉人(32) H17.5.8
- 宇野 智(35)
- 八田 秀(37) H17
- 由井 虎史(38) H17.3.20
- 牧内 正志(39) H16.10.17
- 小山 榮治(43) H16.6.21

- 松崎 五郎(41) H17.4.30
 - 入山 和太次(44-5) H17.6.1
 - 花岡 巖(50) H17.8.16
 - 飯島 英美(51) H17.3.19
 - 小出 重五郎(56) H17.2.24
 - 山崎 英昭(59) H7
 - 野田 将弘(64) H17.10.31
- (会報73号掲載の50期 高島通敏様(04.7月逝去)を高島と誤記いたしました。慎んで訂正いたします。)

同好会の演技を楽しみにして出席します。良い企画と思っ
ています。
▼小林清隆(71) 二人の子ど
もが曲がりなりにも一本立ち
したことで夫婦揃ってのゴル
フに精を出したいと思ってい
ます。
▼関雄二(72) 急な用事がで
きて残念ですが欠席します。
▼市川節男(73) 関東同窓会、

実行委員のお手伝いをして
もいいです(実行委員御苦
勞様でした)
▼宮川正(76) 防衛庁統合幕
僚会議事務局勤務を命ぜら
れ着任しました。第2航空
団飛行群司令在勤中北海道
千歳市はご厚情を賜りお礼
申し上げます。同窓会は北
海道支部に参加してきまし
たが関東に戻りましたので、

よろしくお願ひします。(イ
ラク・サモワへの第1次派遣
での活躍、御苦勞様でした)
▼増田則夫(78) 学位審査の
ため欠席します。
▼渡辺博(78) 総会のお手伝
い、頑張らせていただきます。
よろしくお願ひします。(実
行委員での活躍、ありがと
うございました)
▼會田信子(80) 会報73号の

コラム「うえだ・人」の取材の折
には、幹事長、編集者から励まし
のお言葉を沢山頂きました。自分
を支えてくださった諸先生、先輩、
友人の存在の大きさに気付き感謝
の気持ちで一杯になりました。こ
のような機会を与えてくださりあ
りがとうございました。総会は海
外出張のため欠席させて頂きま
すがよろしくお願ひします。(會
田さんのひたむきな努力と向上心
に編集者も胸を打たれました。温
かい心と優れた技術を持つ看護士
の養成に今後も尽くしてくださ
い)

おります。盛会を祈り
ます。
▼青木一也(95) 御苦
勞様です。球友会でお
世話になっていきます。
住所と勤務先変更をお
願ひします。(若手の積
極的参加を期待してい
ます。野球部再生に頑
張りましょう)
▼橋本清香(95) 姉
(92期橋本真弓さん)と
もども大変お世話にな
っています。初めて関
東同窓会に出席できる
のでとても楽しみにし
ています。多くの先輩
と沢山お話ができたら
と思っております。今後
ともよろしくお願ひし
ます。(総会の感想いか
がでしたか。同期生を
引っ張ってきてくださ
いね)

◆運営基金拠出者 氏名

(平成17年4月1日~平成17年9月30日の拠出者。合計15万円。)

33	石井 正六	1万	60	西澤 國隆	2万	63	大塚 和弘	1万	73	市川 節男	1万
54	田中 嘉親	3万	62	小山 兵六	1万	66	清水 理	1万	80	會田 信子	1万
58	堀内 昭	2万	62	小林 直樹	1万	72	今井 一郎	1万	92		

◆寄付者 氏名

(平成17年4月1日
~9月30日の寄付者。
合計14万4千円。)

期	氏名		期	氏名		期	氏名	
31	土屋 学	2.5万	42	山邊賢四郎	1万	63	林 壮治	4千
32	中台秀松	2千	47	三浦嘉治	1万	63	上條和祥	2千
32	中村禮三	2千	49	久保利夫	1千	65	丸山暢久	1千
32	依田嘉人	1万	58	堀内 昭	1万	66	清水通男	3千
33	由井虎史	1万	58	山村邦夫	2千	80	會田信子	1万
40	小林郷司	1万	60	西澤國隆	2万	91	西澤真理子	5千
42	横山誠之助	2千	63	大塚和弘	2千	103	川村拓也	3千

▼橋本真弓(92) 在コスタリカ 会報、毎回楽しく読ませて頂いて
います。(高崎からやってくる人
もいます。ぜひ顔を出してください
い)
▼長尾健(84) 7月1日で異動と
なり、総会当日も勤務になってし
まいました。6月18日、上田で84
期同窓会を行いました。
▼山本實(86) 転勤で熊谷に転居
しました。なかなか東京に行けな
くなってしまいました。来年の
同窓会には出席できればと思っ
ています。(高崎からやってくる人
もいます。ぜひ顔を出してください
い)

▼飯窪順子(80) 会報73号「うえだ
人」で紹介された會田信子さん
とは同じクラスでした。登校して
るとすぐ机に向かって英語の勉強
をされていました。その姿が今で
もはっきりと思い出され、とても
懐かしき時の流れを改めて感じま
した。いつの日か同窓会でお会い
できたらと思います。(皆さんで
ぜひ再会の機会を作ってください
い。同窓会でも橋渡しをします)
▼横関正人(81) 会費納入が滞り申
し訳ありません。住所変更をお願
ひします。(会費受領しました。
ありがとうございます)

▼三橋優介(100) 現在横
浜国立大学4年生です。
総会には初めての参加
です。よろしくお願
ひします。(3桁の同窓生
の参加が増えるのを楽
しみにしています)
▼奥水理美(102) 昨年
度(16年)は参加させ
て頂いたのですが、今年
は残念ながら都合つか
ず欠席します。大学2
年生を頑張っています。
(さまざまな分野で活躍
している先輩がいます。
「たたけよ、さらば開か
れん」です。アドバイ
ス、ご協力もできま
すよ)。



TOY'S FACTORY

Imaginations are free and fun,
and excitements more wonderful and much greater

"発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく"

株式会社 トイズファクトリー

代表取締役 井出 孝光

- Mr. Children
- Sugar
- BUMP OF CHICKEN
- ゆず
- ケツメイシ
- RAG FAIR
- ジャパハリネット
- melody.

72期 古市礼子さん (福田礼子さん)

うえだ
人映像プロデューサー &
演出家として活躍中

取材を受ける古市さん

真田町の「若草物語」のような四人姉妹。長女(65期、現在松本で歯医者さん)を先頭に全員上田高校卒。その3番目。仏教が好きだった父の勧めで大正大学へ。だが、大学にはほとんど通わず演劇の世界へ。その頃東京芸大の野口三千三

先生に出会い、イメージと体との結びつき、つまり自分が言葉でなく体でイメージしたことがそのまま相手に伝わるということを演劇で実感。活字の言語でなく音声としての言語、また言語以前の言語を、体を楽器として使って表現するという面白さに目覚めた。もともと、高校時代から美術が好きだった。内容をビジュアルに表現していくということが…。演劇の世界はテレビの業界と関連があり、いつしか映像作家としてここに関わりを持った。

TV業界はディスカッションしながら造っていく。色々な人がそれぞれの興味に従ってテーマを追っている。その中で、古市ならではのテーマは何かと問われれば、色々あったけど、本当にやりたいのは「自分を生ききる」ということ。

自分を

生ききる

中川恵一×養老孟司

そのテーマに基づいて、まず「生まれる」ことを主題に自宅出産について番組を作った。

次は「死ぬ」ことについて。しかしこれはTV番組では描ききれないものがあつた。そこで、別のメディアも一緒にした方がいいのかなと、出版も同時に進めた。それが左の本。御一読を。

さて次は「生きる」ことについてだ。今振り返って見ると、「生きる」というテーマはやはりどこか父の影響かなど。また、あの真田町の冬の寒さ。あれがどこか体の中に生きて

いる。この間もフィンランド取材。「デザインとオーロラの国、フィンランド紀行」という番組だが零下10度Cの寒さが逆に気持ちよかった。またデザインというものにとらえ方でも、フィンランドでは1年のうち半年ぐらい冬の生活。そうすると、寒い中で生活はどうしたらいい? 暗い中で生活はどうしたらいい? という必要から家具や照明のデザインが出てくる。北欧デザインは日本でも人気だが、この「生きる」という視点からのアプローチが古市さんならではのとりえ方だ。また、このフィンランドの取材で、たまたま長野県出身で日本語の教師をしておられる方がいて、その紹介で北極圏の先住民族「オーロラの民サーミ」の音楽家の公演やTV番組を企画することになった。狭い国土と少ない資源で豊かに生きる彼等に感銘を受けている。そんなことでも故郷とのつながりを感じ、いつか4人姉妹そろって同窓会に出席したいなと思っている。(主な作品:「蘇れ百人一首~カナダ人木版画家10年間の挑戦」「ああ!あれから50年妹たちの学徒出陣」「もっと知りたい放射線治療~日、仏、スウェーデン」など。「妹たちの学徒出陣」は、「見送った妹たち」という意味。これらは、民放連ドキュメンタリー報道部門特別賞や文部大臣賞など種々の賞を受賞した。)

オーロラと星



ストラディヴァリウスのタベ



前田喜美子さん(54期、関東同窓会長)がストラディヴァリウス(1730年製)を貸与されているベルリン・フィルの元コンサートマスターで現在ソリストとして活躍のコリヤ・ブラッハーさんが来日され、上田高校同窓生のためのリサイタルが12月4日代官山ヒルサイドウラザで開かれた。

小さな室内で家族的な雰囲気。プロコフィエフ、シューベルト、ショスタコービッチと、古典と近代の神髄が奏でられ、約110人の同窓生とその家族が間近な席で堪能した。「感激した。上田高校でよかった。これからも色々試みをしてほしい」と同窓生。



橋本真弓さんコスタリカで落語

カムカム寄席

中米コスタリカの日本大使館に赴任中の橋本真弓さん(92期)が「日本週間」で「スペイン落語」を披露した。(お便り9ページ)



佐藤有さん(103期)準ミス慶應に!



慶應大学1年の佐藤有さんがミス慶應コンテストで多数の応募者の中から準ミスに選ばれた。佐藤さん

は上田高校ダンス同好会を発足させた人。「勉強は宿題やプレゼンテーション課題が山のようにあって大変。でも、政治・経済など社会情勢に直結した授業はとて面白い。父をなくして寂しい思いをしている私にとって、上田高校の先輩方の会があるとお聞きした時は、父の懐に抱かれるような暖かさを感じた」と言う。父上は校門の側で歯科医をされていたが、佐藤さんが高1の時51歳で急逝された。佐藤さんは現在、母上とともに上京している。

